

平成16年 7月号



釧路あすなろ会報

平成16年度 スローガン

「新たな挑戦」

平成15年7月 例会報告

1部会部担当

題 目 「観 光」 《ようこそ、くしろへ》

「800メートルからの観光」

開 催 日 時 平成16年 7月 8日（木） 午後6時30分

開 催 場 所 釧路パシフィックホテル

出席者人数	第1部会	10名	第2部会	9名	
	第3部会	9名	第4部会	7名	出席者合計 35名

〔例会後述〕

1部会の皆様ご苦労様でした。

今回はなぜ、1部会の皆さんがこのテーマになったのかを紹介いたします。

例会のテーマは「観光」をキーワードに、さらにその地域を市街地に設定した私達なりの街への元気策と言うものを提案します。

ここ10～15年の間に郊外への大型店の出店が相次ぎ、それを伴い中心市街地の空洞化が進みました。それ以前は街には、だまっていとも人が集まり、日常的に賑わいがあったものでした。

しかし以後の経済不況などを経て街（特に商店街）は活力を無くしてしまって元気が有りません。これは釧路だけの事ではなく、道内どこの街も同じような状況です。

しかし郊外の商業ゾーンが人を集めていると言っても、それは一方に都心、すなわち中心市街地があつての事で、やはりブラブラ歩き回ったりと言うのは”街” だと思ふのです。

街には市民だけではなく、遠方からの観光客も大勢訪れます。そこで今、例会のテーマであります、観光客への、ようこそその気持ちを形に、と言う事で「観光客に優しい街（地域）づくり」を提案します。観光客に優しいって何だ？と言うのはつまり”もてなしの心”です、よく北海道観光を指して、「自然一流」、「売り込み二流」、「もてなし（サービス）三流」とか「素材一流」、「料理二流」、「もてなし三流」などと言われています。このように、自然や食材等いくら良い物が有っても旅行の印象は旅先で出会う人達によって、受ける印象は大きく変わる物です。自然環境や食と言う物は、観光客には一番の楽しみであると思いますが、又再びこの街（釧路）に訪れたいと思わせるのは旅先で受けた地域の人との交流であったり”もてなしの心”ではないでしょうか、私達がすぐにでも出来る、無限の観光資源と言えるのではないのでしょうか。行政が考え、行う大きな施策は私達個人では出来ませんが、又行政だけでは出来ない、個人だからこそ出来ると言うのが今回の”もてなしの心”です、もちろん行政との連携、商店街の方々の協力が無ければ出来ない事でも有ります。

私達の今、例会での「商店街はどこでも観光案内所」の発想は、私たちが一方的に商店街に押し付ける物でもないし、中心商店街の活性化などと言うものでもありません。只、必ず訪れ、あるいは通るであろう、中心商店街に観光客との交流を通じて、活気や元気が生まれてくれば自然と全体の利益と言う物につながって来るのであろうし、結構な事でないのかなと思います。

中心市街地と観光客を軸にして、地域商店街に連携（コミュニケーション）と共同体としての、動き等につながって行けばさらに良いなと考えます。

第1部会会長 高木 俊一

[事務局連絡]

- ・ 10月例会は管外研修です、川湯温泉方面で計画しています。
まだ、出欠の連絡をしていないお方は8月5日までに本間会長まで連絡してください。
- ・ 例会中は、携帯電話をマナーモードにするか電源を切るようにして下さい。
- ・ 次期会長決定準備の為、各部会は候補者を8月20日までに決めて下さい。
その後、速やかに選考委員会を開きます。
- ・ 例会の出欠につきましては同封の用紙にて部会長まで必ず報告ください。食事の都合もありますのでよろしくお願いいたします。

— 次 回 例 会 の ご 案 内 —

題 目	「葬儀」突然の身内、友人の死	（3部会担当例会）
開催日時	平成 16 年 8 月 12 日（日）	午後 6 時 30 分
開催場所	釧路市パシフィックホテル	